

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院形成外科に、退行性下眼瞼内反症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学形成外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

退行性下眼瞼内反症に対する術式の後方視的検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学形成外科学講座 学内助教 坂田康裕

3. 研究の目的

退行性下眼瞼内反症に対する術式は数々報告されているが、一定の見解はない。一般的には、経皮的アプローチによる Lower Eyelid Retractor (LER) advancement を選択している施設が多い。一方、当施設では、経結膜アプローチにより結膜+LER を切除し瞼板に固定する方法を行っている。そこで、本法と、過去の当施設における経皮的アプローチによる LER advancement との治療成績について後方視的に比較検討する。本研究において、これまでの術式を比較検討することで、退行性下眼瞼内反症における術式選択の標準化につながると考える。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

退行性下眼瞼内反症の患者さんで、平成28年1月1日から令和5年12月31日までの期間中に、内反症手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、術前検査、術式名、術後合併症および再発の有無に関する情報です。

(3) 方法

診療録を用いて上記項目を後ろ向きに調査を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学形成外科学講座 担当医師 坂田康裕

TEL : 073-441-0872 FAX : 073-441-0873

E-mail : ysakata@wakayama-med.ac.jp